


 さくら館
 (千葉県船橋市)

3月増床移転OPEN!



年頭のご挨拶

理事長 湖山 泰成

新年明けましておめでとうございます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

苗場福祉会は今年5月で法人創立26年目を迎えます。施設数19、職員数1,200名を超える大きな法人に成長いたしました。昨年4月には新潟県十日町市にサービス付き高齢者向け住宅「ヴィラあかし」を開設いたしました。また、今年度は念願でありました千葉県船橋市にあります特別養護老人ホーム「さくら館」の増床移転と新潟県津南町にあります老人保健施設「みさと苑」が特別養護老人ホーム「みさと苑」にリニューアルオープンをいたします。老人保健施設「みさと苑」は法人設立の次の年である平成6年に開設し長きにわたり皆様の支援をいただきながら運営を行い25年が経ちました。この度、特別養護老人ホーム「みさと苑」に生まれ変わりますが今後も皆様のご支援をいただきながらニーズに応える施設づくりに邁進してまいります。

さて、介護業界は医療保険、介護保険同時改定や人材不足等により益々厳しい運営を強いられております。しかし、ご利用いただくお客様の処遇を大切にしながら、また職員一人ひとりを大切にしていける取組を今後も推進していきたいと思っております。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、新年の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



9/4~
10/20

新潟県認知症介護実践者研修・総括講座 岩佐まり氏講演会

平成29年10月20日、クロス10中ホールを会場に職場研修成果報告会が行われ、その後、特別講演会として「若年性アルツハイマーの母と生きる～本当に介護は大変だよ。でも…もう少し一緒にいようね～」と題し、フリーアナウンサーの岩佐まり氏にご講演をいただきました。受講生53名・外部聴講生100名は、岩佐氏の覚悟と愛情をもって前向きに母親を介護する姿に笑いあり涙あり、たくさんの感動をいただきました。



11/
1・2

新潟県小規模多機能サービス等 計画作成担当者研修 修了

平成29年11月1日～2日、ヴィラあかしを会場に県内から集まった19名の受講生に、小規模多機能型サービス計画作成担当者研修を開催しました。

初日は制度・実践・チームケアなどを学び、2日目は居宅介護計画作成の基本を学んだ後、各自が持ち寄った事例に対し時間をかけて検討しました。

短期間でしたが、地域で生活する人の視点を広げ確認する2日間になりました。



▲看取り研修

緩和ケア・看取り研修

11月15日、以前みさと苑に勤務していた涌井裕子さん講師にお招きし、研修を行いました。苑での看取りの経験から緩和ケア認定看護師を目指し、みさと苑で講義をする事を目標に頑張った、との事。熱い想いに、看取りの病態生理内容はもちろん“看取りのこころ”も教えてもらいました。参加は苑内外から66名、今後の見取りケアに役立てていきたいと思えます。

(みさと苑 看護リーダー 高橋久美子)

アンガーマネジメント研修

今年度 3 回開催

アンガーマネジメントファシリテーターの山岸智子氏を講師に迎え、“怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング”について学びます。部下を持つ人たちが「怒る必要のある事を上手に怒れ、怒る必要のない事は怒らないようになる」ことを目指す、ラインケア研修の一環として行っています。





KOYAMA フレッシュャーズフェス2017



新卒として参加して

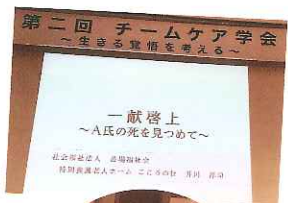
10月10日、11日と千葉で全国から321名（当法人45名）の新卒入職者を対象とした湖山フレッシュャーズフェスが行われました。この日の為に、各法人ごとに趣向を凝らしたプレゼンテーションを考え、練習を重ねてきました。本番は緊張しましたが、発表が終わった際に達成感や、高揚感を味わうことができ、他の法人の新卒入職者とも交流することができ、とても貴重な体験となりました。

（みさと苑 リハビリ科 関 郁弥）



チームケア学会

11月24日、アパホテル東京ベイ幕張ホールにて第2回チームケア学会が開催され、全国から400人を超える参加者が集まりました。前日、69事例（うち当法人6事例）が発表された、こやまケア全国研究発表大会に引き続き、『「生きる覚悟」を考える』をテーマにシンポジウムが行われその中で看取りの事例としてこころの杜の発表がありました。



（左：発表者 井川淳司）

「一献啓上」を発表して

参加者の多さと会場の広さに緊張しましたが、『「生きる覚悟」を考える』がテーマとなった今回のチームケア学会において、事例発表という大役を何とか果たすことができ、ホッとしています。「チームケア学会」という場所で事例の発表させて頂き、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。（特別養護老人ホーム こころの杜 井川淳司）

こやまケア 地域事例発表会

当法人では、各施設での取り組みを発表する機会として、事例発表会を行っています。

11月17日に地域の方、関係業種の方など20名に参加して頂き、地域発表会を開催することができました。今回は18事例が発表され、内6事例が全国研究発表大会に参加しています。日頃のケアを振り返る機会、各施設の取り組みを展開する機会となりました。今後もお客様により良いケアが提供できるよう職員一同取り組んで参ります。

（こやまケア委員 高木陽子）



地域のみなさまとともに…

まほろばの里
川治

高校生見学会

まほろばの里川治へ12月5日・7日・8日に、十日町総合高校で「生活と福祉」を専攻している2年生31名・3年生17名が見学に来てくれました。福祉施設が他職種連携で成り立っていることを熱心に学んでいられました。参加の生徒さんの中から介護士や看護師が誕生し、いつか地元で活躍してくれる日が来ることを楽しみにしています。



- 12月8日 むさし野の森（所沢市）小学生総合学習
- 12月13日 アルマ美浜（千葉市）小学生見学

を受け入れています。

新潟市の公募で選定されました

平成29年度地域密着型サービス指定候補者として苗場福祉会が選ばれました。

場所は新潟市中央区古町通13番町（湊小学校跡地）、小規模特養29床、グループホーム18床、短期入所生活介護10床の複合型の施設となります。

建物は港町に新しい活気を生む施設を目指し、「アルシエふるまち」と命名されました。「アルシエ」はフランス語で「方舟」の意味であり、船をモチーフにした外観となる予定です。平成31年3月1日開設予定です。



設計プラン会議

これからの設計プランについて、12月15日倫統括本部で湖山代表が参加されるなか会議が行われました。

参考とする建物模型が用意され、湖山代表のイメージや小松本部長、田村次長の施設づくりへの想いを反映するべく検討が進められました。グループの建築統括矢作本部長からのアドバイスでプランが固まってゆきます。

湖山代表のアイデアで、吹き抜けに使用するガラスも「海」や「水の中」を連想する模様があるタイプを検討するなど、港町新潟に馴染み、親しんでもらえる建物を目指します。

船は漕ぎ出したばかりです。船長である田村次長と共に航海してゆくクルー（職員）が胸をはって働ける素敵な船となりますように…。

新卒



介護の未来はあなたが創り出す!

平成31年度の新入職員を募集します。
平成30年度の募集も引き続き行っております。

関東圏(千葉・埼玉)

募集職種

- 介護職
- 相談員
- リハビリ職
- 総合職
- 看護職

新潟県

- 介護職
- 相談員
- リハビリ職
- 総合職
- 看護職

※会社説明会・採用試験のご案内はホームページに記載しています。右のQRコードからご覧下さい。



お問合せ先 新潟県：025-765-7400 石沢
関東圏：043-216-4004 福原



社会福祉法人 苗場福祉会

法人管理部

〒948-0036 新潟県十日町市川治4525番地 TEL.025-761-7400 FAX.025-761-7422

E-mail:contact@naebafukushikai.com Home page http://www.naebafukushikai.com

編集委員／高野朋子、中澤克彦、田中保雄、佐藤靖彦、宮寺裕子、高橋優子、福原正徳、岡村昌幸